

# 核兵器のない平和で公正な世界めざしともに歩こう！

## 2017年奄美地区国民平和大道行進ニュース

発行：2017年原水爆禁止奄美地区国民平和大道行進実行委員会 No.4

2017.6.26

### 奄美での平和行進にのべ200名参加

6/26(月)奄美地区国民平和大道行進の最終日。午前中は中島実行委員長、荒田副実行委員長、喜島事務局長の3人が龍郷町へ自治体要請に行きました。龍郷町では町長・副町長・総務課長の3人が対応。私たちの要請に理解を示していただきました。

午後から始めた行進は、奄美コースとしては初の平松～朝仁コースでスタートしました。参加者は新鮮さを感じながら核兵器廃絶を訴えて歩きました。2コース目は長浜から市役所までのコース。雨に降られるのではないかと心配もありましたが、不思議なことに市役所到着と同時に大雨が降り出し、市役所への要請が終わると同時に雨が止むという状況で、私たちの願いが空にも届いているのかなと思う出来事でした。

奄美最後の市街地コースの終結集会では、中島実行委員長が奄美での行進を振り返り、子ども達や75歳の通し行進者の小林さんに励まされ奄美の行進を歩き通せることが出来たと述べました。

また、喜島事務局長の基調報告では、今年の平和行進は、核兵器禁止条約の交渉会議が国連で開催されるという歴史的情勢の中で行われます。しかし日本政府は第1会期も第2会期も参加せず、日本政府代表席には、「折り鶴」が置かれている。唯一の被爆国でありながら、核艦船の寄港を容認し、世界最大の地震大国でありながら54基もの原発をつくり、9条を持つ国でありながら、全土に米軍基地を許し、武力行使を支持しているのが現在の日本の姿だと非難しました。そして、核兵器禁止条約が世界の現実になろうとしているいま、4度の被爆を体験した国として、日本はその役割を大きく発揮していく必要があると訴えました。

その後、世界大会参加者や民商、日本共産党、奄美地区労連の代表に発言をいただきました。今年の世界大会に参加する奄美中央病院の重山ひろかさんは、「現在憲法C a f eという憲法や平和について学ぶ学習会に参加している。憲法9条が改憲されてしまうと72年前にヒロシマ・ナガサキで起きた悲惨な光景が繰り返されるかもしれない。とても無関心ではられない。8月の長崎大会に参加し平和の大切さや尊さ、現地に集まる人々の思いを感じ、それをまわりの人に伝えていきたい。」と決意を述べました。また、奄美民主商工会の岡田みゆきさんは、「憲法の基本的原則は個人の尊重。国家のために個人があるのではなく、個人の幸せのために国会がある。平和でこそ商売繁盛が民商の合言葉。憲法を守り生かすこと、それは生活を守ること。平和憲法を守りましょう」と呼びかけました。

集会後は奄美市街地を行進。今日も子ども達の「がんばれー」の声に励まされて「核兵器も基地も原発もない世界」「ヒロシマ・ナガサキ・フクシマを繰り返さない」「ふたたび被爆者をつくらない」と訴えて行進しました。

実は雷の予報が出ていたのですが、なぜかこの時も雨も降らず、雷も鳴らず歩き通せることができました。「子ども達に戦争もない核兵器もない平和な未来を手渡したい」という私たちの願いが通じていると確信しました。

平和行進に参加したみなさん、お疲れ様でした。

私たちひとりひとりの行動が世界を動かします！これからも声を上げ歩き続けましょう。

### 6/26名瀬コースのべ100人



平松～朝仁コース  
初めて歩くコースです



朝仁海岸にて



アダンと医労連旗



長浜～市役所コース

ゴール地点の市役所前でもう一度・・・  
「核兵器はいらない」をアピールする美女軍団！



奄美市自治体要請  
荒田副実行委員長、今年も熱く要請。原爆パネル購入のための予算化を！日本政府に交渉会議に参加するよう求めて！

### 御殿浜公園での終結集会 最後の奄美路



中島実行委員長



世界大会参加者の  
重山さん



決意表明したみなさん



喜島事務局長

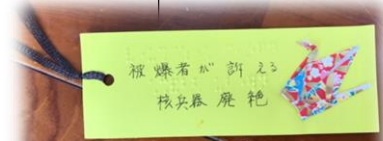


子ども達の未来が  
平和であり続ける  
ために・・・



### 青年たちの思い(医療生協新卒さん)

- ★「戦争」ということに脅かされず、その可能性もない平和な国「日本」で安心して暮らしていきたい。
- ★私たちは戦争もなく便利な世の中に生まれた。それは昔の人々から受け継がれてきたもの。私も子や孫に平和を受け次いでいきたい。
- ★行進を通して1人1人の意識を平和に向けていくべき



小林さんからいただいた菜

